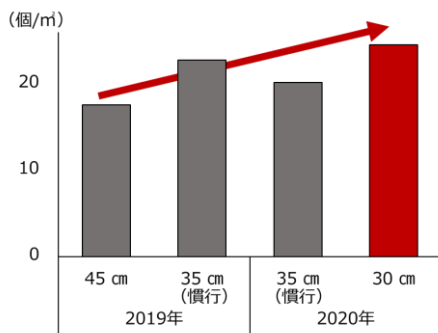


丸系八つ頭の種芋の安定確保と緊急活用技術

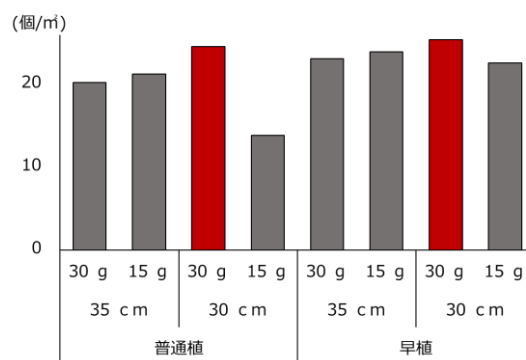
「丸系八つ頭」は、本県のブランド野菜として作付けを推進していますが、優良な種芋を安定して確保することが課題でした。

そこで、栽培方法を検討したところ、30g前後の種芋を慣行よりやや狭い株間30cmとすることで、より多く種芋を確保することができました。

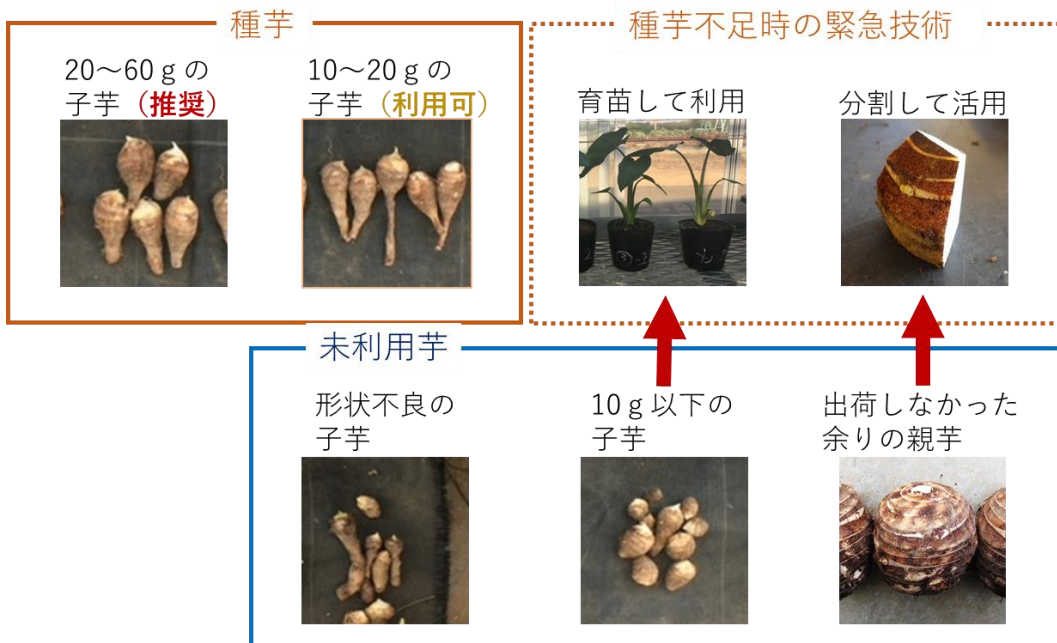
また、種芋として通常20~60gの子芋を推奨していますが、10g以上の子芋や分割した親芋の直植え、育苗コストを要しませんが10g以下の極小芋の育苗苗での栽培でも出荷用の芋生産が可能であることが分かりました。これらは種芋不足時の緊急対応として活用できます。



株間を狭めて種芋確保



種芋 30g、株間 30cm が適する



種芋の不足時は、親芋や極小芋も活用できる

本成果を追記した栽培マニュアルを、農技研HPで公開しています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0909/kousyuueki-hatasaku.html>

(高収益畑作担当 TEL 048-536-0442)